農地法の許可申請受付〆切日は毎月10日です。

潮来 農委だより

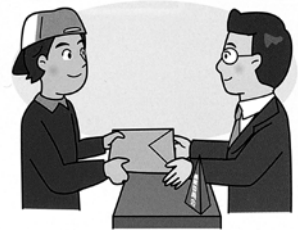
第　55　号
発行者　潮来市農業委員会
編集者　広　報　委　員　会
TEL　６３－１１１１
内線　270・271

新しい農地制度がスタートしました。

「新しい農地制度」は、
①農地の減少を食い止め、農地の確保を図ります。
②農地を貸しやすく・借りやすくします。
③農地の効率的な利用を図ります。
これにより、わが国の食料の安定供給の確保をめざしています。

農地を相続したら届け出が必要となりました！

● 相続等によって農地を取得した人は、農地のある市町村の農業委員会に届け出が必要となりました。

● 届け出をしなかったり、虚偽の届け出をすると、10万円以下の過料に処せられます。

● 罰金額が大幅に引き上げられました。

	これまで	これから
①違反転用	3年以下の懲役または300万円以下の罰金（法人は300万円以下の罰金）	3年以下の懲役または300万円以下の罰金（法人は1億円以下の罰金）
②違反転用における原状回復命令違反	6か月以下の懲役または30万円以下の罰金（法人は30万円以下の罰金）	3年以下の懲役または300万円以下の罰金（法人は1億円以下の罰金）

【会　　長】　秋永　三男

【会長職務代理】　草野登美雄

- 農地部会（11名）（部会長 辻 慶壽）
- 農政部会（8名）（部会長 吉川 光一）
- 運営委員会（8名）委員長（森内 和夫）
- 広報委員会（8名）委員長（小沼 徂伸）
- 景観形成委員会（5名）委員長（薄井 榮治）

潮来市農業委員名簿

番号	氏　　名	備　　考
1	石津仁英	水原3区
2	仲田　孝	宿・古宿・赤須
3	大﨑　侯	清水
4	草野　衛	辻・江寺・貝塚・築地
5	吉川吉之助	永山
6	大久保高明	潮来東部地区
7	志村　裕	東区・西区
8	箕輪　昇	大生・大賀
9	大川尚昱	釜谷
10	吉川光一	須賀・曲松・小泉
11	小沼徂伸	水原1区・2区
12	辻　慶壽	芝宿・横須賀・台上戸
13	鴇田　学	潮来西部地区
14	橋本きくい	日の出
15	榊原昭男	新宮・古高
16	草野登美雄	下田・宮前
17	森内和夫	堀之内・茂木
18	久保庭武彦	洲崎・前川・徳島・福島・米島
19	薄井榮治	牛堀
20	兼原昭一	十番・十四番
21	秋永三男	大洲

次の場合は、農業委員会の許可・届出が必要

◆農地法第３条
農地を農地として売買、又は賃借等を行う場合

◆農地法第４条
農地の所有者が自ら農地を農地以外に使用する場合

◆農地法第５条
農地の所有者以外の者が、農地の所有者から農地を買ったり、借りたりして農地を農地以外に使用する場合

◆農地改良
「湿田の解消に」「田んぼを畑に」といった目的で盛土を行う場合

新農業委員紹介

①住所
②担当地区
③所属部会・役職
④所属委員会・役職
⑤任期

9 大川 尚昱
① 釜谷３２９
② 釜谷
③ 農地部会
④ 運営委員会
⑤（官選）1期

農業委員就任にあたっての抱負

この度農業委員の一人として就任いたしました。大川尚昱です。何しろ初めての仕事でありますので身の引き締まる思いでおります。私の前歴を述べさせていただきますと農業の経験は、多少の経験はありますが専門的技術的につきましては皆様との比ではありません。ただ、これまで永年に渡る郵政事業での管理経験を生かし、農業委員の一人としてもお役に立つものと存じますので、是非とも皆様のご理解とご協力によりまして任務を全うさせていただければ幸いです。

■任期満了に伴い、JAなめがたの代表が交代となりました。長い間、ご苦労様でした。

（敬称略）
・なめがた農業協同組合代表（４月２４日付）
（前任者）笹本　孝之　→　（後任者）大川　尚昱

平成２２年度の目標及びその達成に向けた活動計画

農林水産省からの「農業委員会の適正な事務実施について」の通知に基づき、
下記の計画が決定されました。

1 認定農業者等担い手の育成及び確保

			認定農業者	特定農業法人	特定農業団体
現　　状	農家数	1417戸	49経営体	0法人	0団体
	うち主業農家	126戸			
	農業生産法人	0法人			

	認定農業者	特定農業法人	特定農業団体
平成２３年度までの目標	53経営体	—	—
目　標	2経営体	—	—

2 担い手への利用集積

現　状	管内の農地面積	これまでの集積面積	集積率
	1797ha	499ha	27.77％

平成２３年度までの目標	集積面積	553ha
目　標	集積面積	25ha

3 耕作放棄地の解消

現　状	管内の農地面積	耕作放棄地の面積	耕作放棄地率
	1797ha	64ha	3.56％

平成２３年度までの目標	解消面積	31ha
目　標	解消面積	7ha

4 違反転用への適正な対応

目　標	是正指導の継続と新たな発生防止のため、農地パトロールを徹底する。

◇◇

■議案審査の状況を公表します。

農業委員会定例会における議案審査の件数は下記のとおりです。

期間　平成２２年1月～平成２２年6月

	1月	2月	初総会	3月	4月	5月	6月
農地法第３条（農地のままでの権利の移転）	1件	4件	件	4件	7件	2件	6件
農地法第４条（自己転用）							
農地法第５条（権利の移転を伴う転用）	1	3					1
利用権の設定（農業経営基盤強化促進法による）	16	18		32	10	3	10
農地の現況確認証明					1		
その他	5	5	7	3	6		2

全体研修会に参加して

農業委員　石津　仁英

野山の緑も一層新緑を増し、緑が広がった田園風景を眺めながら、福島県は磐梯山の裾野に広がる、白虎隊で有名な会津地方、会津美里町、高田中央担い手生産組合を研修致しました。

水稲直播栽培について
農地の集積状況について

ＪＡ会津みどりの職員さん、生産組合の組合長さんに概況説明を受けました。水田面積百五十ヘクタール受益農家三百四十三戸、担い手生産者十一名で高田中央担い手生産組合を結成したそうです。直播栽培の導入による水稲の低コスト化に向け、技術の定着と戸別担い手の組織化による生産組織の育成、大型機械の導入での効率的な生産、転作地に於いては団地化の推進と大豆の作付による経営の拡大安定を目指しスタートしたそうです。

また、農業普及所及び関係機関、団体の支援を受けて活動の目標に向かって邁進しているそうです。

今では、全面積で直播栽培を実施し、転作地の団地化には大豆を作付し、明渠・弾丸暗渠の施工により排水対策を徹底し、無培土栽培により大豆の作付を行い、平均収量300kg/10aと高収量を上げる事が出来たそうです。

磐梯山系の裾野に広がる広大な高地と恵まれた地形豊富な水量で育った稲作は秋の収穫時期がまちどうしくなる立派に成長された稲作を拝見する事が出来ました。又後継者問題を尋ねると、問題は有りませんと力強い言葉が返ってきました。将来の当地方の農業を考えた場合、高齢化や後継者不足で農業労働力の脆弱化で一層農家離れが進み、耕作放棄地が増えてしまうのではないかと心配する昨今です。当地方の農業とは、地域差はありますが大いに参考にして、当地方農業の活性化に繋げていければと思います。

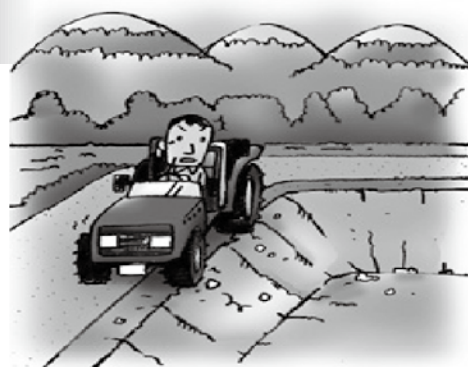
『駅からハイキング』で餅つきを行いました

農業委員会は、五月二十九日の『駅からハイキング』に恒例の餅つきイベントを、改修した前川水門脇にてテントを張り行いました。

地産「満月米」九十キロを使用し、黄粉餅、餡子餅、辛味餅を作り、観光客や参加者に潮来産の味覚を味わっていただきました。餅の大きさは、なかなか同じ大きさに作るのが難しくて、大小入り混じりでしたが、味の方は、参加者の桁田市長、潮来市議会関係者、市役所関係方々にも食味していただき好評でした。土曜日のため、「嫁入り舟」も数回催され、お客さんが一度に来てテント内は、一時餅不足の事態にもなりました。餅製作に追われ大変忙しい中、皆さん楽しかった一時でした。今回は、「食の文化」を通じて『水郷潮来』のＰＲや「憩いの場所」の提供を行うことが出来ました。農業委員会は、身近な地域貢献を通じて、皆様方にこれからもお役に立ちたいと思っています。

農業委員　仲田　孝

農業機械の安全対策

事故から身を守る！
〈農業機械の安全対策〉

例年、農作業中に事故で亡くなる人は、400 件近くに上ります。しかもこのような事故は、日常作業の中で起きています。事故は他人事のように思いがちですが、いつでもわが身に降りかかる可能性は十分にありえます。予防のために日頃の注意が大切です。

■死亡原因のトップはトラクター

2007 年、農林水産省が発表した『平成17年に発生した農作業死亡事故の概要』によると、2005 年の農作業による死亡事故件数は 395 件。そのうち農業機械を使った作業によるものが 263 件で、全体の 67%となりました。農機別では、乗用車トラクターによる転落や転倒による死亡が 90 件でトップでした。

■けがの原因で一番多いのは

一方、けがなどの傷害の原因は、2003 年に農林水産省が発表した『農業機械傷害事故調査結果』を見ると、刃部等が 31%、挟まれ・巻き込まれが 26%でした。死亡で一番多かった機械の転落・転倒は 12%です。

■4つの心掛けで効果的に事故を予防する

それでは農業機械での事故やけがは、避けられないものなのでしょうか。

農業機械を使って起こる事故は、ちょっとした不注意や、取扱説明書と異なる使い方をした場合におこることが多いようです。事故を防ぐ4つの心掛けです。

❶ 取扱説明書を読む　❷ 点検整備をしっかり行う
❸ 正しい操作をする　❹ 危険を予測する

日ごろの健康維持はもちろん大切ですが、交通事故防止と同様、
油断せず常に注意を払って行動することが大切です。

農業者年金の加入をお勧めします。

メリット1…
農業に従事している方やその家族の方のために、国民年金の上乗せとしての積み立て方式の確定拠出型（自分の年金は自分で積み立てる）で長期的に安定した公的年金制度です。80歳までの保証がついた終身年金です。

メリット2…
保険料の額は2万円が基本ですが、農業経営や老後設計に応じて自由に変えたり、休止することも出来ます。また税制面でも保険料は全額社会保険料控除の対象となり大きな節約効果になります。

メリット3…
若くて意欲のある担い手（認定農業者で青色申告者）や、家族協定を結んでいる女性の方などら一定の条件を満たせば国の政策支援（保険料の補助）が受けられる政策年金です。

農業委員会活動報告（前期分）

- 1月4日　選挙人名簿受付（4日～10日）
- 9日　新春賀詞交歓会
- 12日　農地部会
- 15日　1月定例総会
- 17日　農業委員会委員選挙告示日
- 24日　農業委員会委員選挙投票日
- 29日　行方地域農業改革フォーラム（行方市）
- 2月2日　新農地と担い手を守り活かす運動推進大会（笠間市）
- 5日　新農業委員辞令交付式
- 8日　新任農業委員研修会・初総会
- 9日　認定農業者経営相談会
- 18日　農地部会・農政部会・広報委員会
- 農作業標準賃金協議会
- 25日　農業委員研修会・2月定例総会
- 26日　元気アッププラン実績検討会
- 3月2日　潮来市大規模稲作研究会総会
- 18日　農地部会
- 19日　県農業会議定例総会・県農政活動推進本部代議員総会（水戸市）
- 25日　行方地域協議会理事会（行方市）
- 26日　3月定例総会
- 4月8日　農業委員会行方地域協議会総会
- 9日　潮来市概要説明会
- 16日　郡協議会会長・局長会議（水戸市）
- 19日　役員会・農地部会
- 26日　4月定例総会
- 5月7日　地域担い手育成総合支援協議会事業推進会議
- 12日　農地転用制度説明会（水戸市）
- 市民あやめ園整備事業
- 17日　県農業会議常任会議（水戸市）
- 5月17日　農業委員会会長・局長会議（大洗町）17日～18日
- 18日　農地部会
- 21日　認定農業者連絡協議会総会
- 22日　あやめまつり開会式
- 24日　行方地域農業改良推進協議会総会（行方市）
- 25日　5月定例総会
- 27日　全国農業委員会会長大会（東京都）
- 行方地域協議会理事会
- 29日　駅からハイキング
- 31日　いばらき女性農業委員の会役員会
- 6月2日　水田農業推進協議会総会・潮来市担い手育成総合支援協議会総会
- 12日　潮来節おどりの響演大会
- 16日　県農業会議常任委員会議
- 18日　農地部会・運営委員会
- 21日　農業委員会全体研修会～22日
- 25日　6月定例総会
- 28日　霞ヶ浦北浦治水利水環境促進同盟会通常総会（行方市）
- 7月5日　行方地域協議会研修会～6日
- 7日　新任農業委員研修会
- 10日　市民あやめ園整備事業
- 13日　行方地域農業振興協議会定例総会
- 16日　県農業会議常任会議員会議
- 20日　農地部会
- 25日　7月総会、広報委員会
- 30日　いばらき女性農業委員の会総会

潮来市賃借料情報

平成21年1月から平成21年12月までに締結された賃貸借における
賃借料水準（10a当たり）は、以下のとおりとなっております。

1．田（水 稲）の部　【潮来市】　平均額　**18,000円**

※賃借料を物納している場合は、60kg当たり　12，000円に換算している。

2．畑（普通畑）の部　【潮来市】　平均額　**12,000円**

◎特殊な取引による賃貸借契約を除く。

平成２２年度　潮来市農業委員会委員選挙人名簿登載者数

平成２２年１月１日現在

投票区名	世帯数	男	女	計　（人）
潮来投票区	１６６	２３２	２２７	４５９
日の出投票区	２６３	４０６	３６９	７７５
津知投票区	１３０	１８７	１８２	３６９
延方投票区	４０２	６１７	５８７	１，２０４
大生原投票区	２４１	３７９	３３９	７１８
牛堀投票区	２６７	３９０	３８０	７７０
八代投票区	２８１	４２６	４１６	８４２
合　　計	１，７５０	２，６３７	２，５００	５，１３７

今年の米作りは十数年ぶりの雪に見舞われる悪条件で始まりましたが、その後の天候も回復し、秋にはよろこびの収穫になると期待をしております。

政権交代により、国の政策も大きく変わり農家に対しても戸別所得補償制度や水田利活用自給力向上事業が始まり、対応も様々であろうと思います。いずれにしても農家が安心して取り組める農政を望みたいものです。私たち委員も、潮来市の農業発展の為に努力して参りたいと思います。

農委だよりも今回で五十五号の発行となりました。今回は委員の活動報告等を掲載しましたが、これからも皆様の活動やご意見も紹介していきたいと思います。広報委員会も頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

農業委員　大﨑　侯

◇広報委員会◇

- 委員長　小沼　祖伸
- 副委員長　大久保　髙明
- 委員　榊原　昭男
- 委員　箕輪　昇
- 委員　草野　衞
- 委員　大﨑　侯
- 委員　仲田　孝
- 委員　石津　仁英